| 学校番号 | 3015 |
|---|---|

# 令和８年度　国語科

| 教科 | 国語科 | 科目 | 言語文化 | 単位数 | ２単位 | 年次 | １年次 |
|---|---|---|---|---|---|---|---|
| 使用教科書 | 『探究　言語文化』　（桐原書店） | | | | | | |
| 副教材等 | 『常用漢字ダブルクリア 五訂版』　（尚文出版） | | | | | | |

## 1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

・社会人として必要な国語の基礎学力を高めることを目標に、積極的に学習に取り組んでください。
・多くの作品に触れることにより、登場人物の心情に対する理解を深めることで、自身の感性を養ってください。
・多くの言葉に触れ、コミュニケーションを円滑にするために、自分の言葉で意思を「表現する力」を身につけてください。
・有名な古文と漢文の作品に親しみ、文化的背景や特色を理解することで教養を高めます。そのために授業で紹介する古典常識や文法事項について、しっかりと学習してください。
・漢字帳（副教材）を利用し、語彙力を豊かにしてください。
・提出物などの期限をきちんと守り、社会人として必要な「自己管理能力」を身につけてください。

## 2　学習の到達目標

（１）「知識及び技能」において
・語彙力を豊かにし、言語文化に特徴的な語句の量を増やすことでそれらの文化的背景について理解を深め、文章の中で使うことを通して、語感を磨くことができる。
（２）「思考力・判断力・表現力」において
・作品の内容や解釈を踏まえ、自分のものの見方、感じ方、考え方を深め、言語文化について自身の考え を持つことができる。
（３）「学びに向かう力，　人間性等」において
・言語文化に対する関心を持ち、知的好奇心を持って学習する態度を育んでいる。

## 3　評価の観点及びその趣旨

| 観点 | a　知識・技能 | b　思考・判断・表現 | c　主体的に学習に取り組む態度 |
|---|---|---|---|
| 観点の趣旨 | 伝統的な言語文化及び言葉の特徴やきまり、漢字などについて理解し、知識を身につけている。 | 「書くこと」、「読むこと」の各領域において、言語文化に触れ自身の感性や教養を高める中で、思いや考えを広げたり深めたりしている。 | 自ら積極的に他社と関わったり、思いや考えを深めたりする中で、言語感覚を磨き、言葉を効果的に使おうとしている。 |

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。
学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4 学習の活動

| 学期 | 単元の学習内容 | 単元の評価規準 | 評価方法 | | |
|---|---|---|---|---|---|
| | | | 知(a) | 思(b) | 主(c) |
| 前期 | 我が国の言語文化についての 理解を深めるために、古典の世 界に親しむことの意義を知る。<br>［教材］<br>「文法の基礎」 | ａ：文語の決まりを理解し、文字の変化についても理解する。<br>ｂ［ 読 ］：古典特有の表現や仮名遣いを学び、作品の読み方を学ぶ。<br>ｃ：我が国の言語文化に興味・関心を深め、積極的に学習に取り組めているか。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| | 古典の文章に慣れるとともに、現代に通じる話の面白さや人間 描写の巧みさを知る。<br>［教材］<br>「児のそら寝」 | a：古文の特徴を踏まえながら、文章に描かれている人物の心情を表現に即して読む。<br>b［ 読 ］：心理描写を丁寧に追いかけ、現代人の私たちにも共鳴できる部分について、考察を深める。<br>c：説話を積極的に読み味わい、互いに話のおもしろさを伝え合おうとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| | 思索的な随筆を読んで、作者の 批判的精神が提示する事柄を 具体的に読み解く。<br>［教材］<br>『徒然草』<br>「ある人、弓射ることを習ふ」 | a：作品に表れているものの見方や考え方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。<br>b［ 読 ］：本文中に表れた作者の批判・教訓を通して、自身の生活を振り返る。<br>c：本文中に表れた作者の批判・教訓などを積極的に読み取り、考えたことを伝え合おうとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| | 話の中で和歌が果たしている役 割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。<br>［教材］<br>『伊勢物語』<br>「芥川」 | a：話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。<br>b［ 読 ］：作品の歴史的・文化的背景を理解し、歌物語では感動の中心が歌にあることを理解し、内容や展開を的確に捉える。<br>c：歌物語に積極的に親しみ、学習課題に沿って和歌の果たす意味を捉えようとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| 後期 | 調べた修辞技法に留意しながら、和歌の鑑賞の仕方を理解す る。<br>［教材］<br>『伊勢物語』<br>「筒井筒」 | a：話の中で和歌が果たしている役割を押さえ、歌物語の特徴と読み解き方を理解する。<br>b［ 書 ］：それぞれの立場・生活から読まれた和歌を、対象の捉え方や表現技法に留意しながら鑑賞し、まとめる。<br>c：進んで和歌の特徴を理解し、進んで和歌を鑑賞しようとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| | 我が国の伝統文化の一つである短歌・俳句の鑑賞の仕方を理 解し、近現代を代表する歌人・ 俳人の作品を味わう。<br>［教材］<br>「近代の短歌・俳句」 | a：我が国の言語文化に特徴的な短歌・俳句表現の技法とその効果について理解する。<br>b［ 読 ］：作品に表れているものの見方を捉え、内容を解釈する方法を学ぶ。<br>c：情景、心情などを捉え、短歌俳句の趣を感じ取ろうとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| | 漢文を訓読する基礎知識として、返り点の種類と使い方、助字、再読文字を習得する。<br>［教材］<br>「漢文の基礎」 | a：訓読のきまりを理解し、故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>b［ 読 ］：訓読のきまりを理解し、漢文の読み方を学ぶことを通して、我が国の文化と外国の文化との関係について理解する。<br>c：日本文化の礎の一つといえる漢文に興味を示し、漢文訓読の基礎知識を積極的に身につけようとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |

| | | | | | |
|---|---|---|---|---|---|
| 後期 | 漢文の訓読に慣れるとともに、現在使われている言葉が漢文に由来することを知る。<br>［教材］<br>「朝三暮四」 | a：訓読のきまりを理解し、故事成語や格言に多く触れることにより、語句の量を増やし、語彙を豊かにする。<br>b[ 書 ]：たとえ話を読み解き、内容や展開を的確に捉え、他の故事成語についても調べる。<br>c：故事成語の由来となった話を積極的に読み、わかった内容を工夫してまとめようとしている。 | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>テスト | ワークシート<br>提出物<br>行動の観察 |
| | 漢字の知識を習得し、語彙力を 向上させる。<br>［教材］<br>「常用漢字ダブルクリア<br>四訂版」 | a：漢字の知識を習得し、語彙力を向上させている。<br>b[ 書 ]：正しい漢字を活用できる。<br>c：漢字の学習に対して興味を持ち、向上心を持って取り組んでいる。 | 小テスト<br>提出物 | 小テスト<br>提出物 | 小テスト<br>提出物<br>行動の観察 |

※表中の観点について

a:知識・技能 b:思考・判断・表現 c:主体的に学習に取り組む態度

※単元の評価規準[ｂ]について…括弧内には[ 話／聞、書、読 ]のどれか一つを記入して下さい。

※年間の各領域時間数

・話すこと／聞くこと … （　　）時間

・書くこと … （　５　）時間

・読むこと … （　６０　）時間